

2022MFJ 全日本スーパーモト選手権第3戦 エビスサーキット参戦レポート

MFJ 全日本スーパーモト S10open クラス

MERCURYPRODUCTS & Husqvarna 東名横浜 #10 薄井保彦

6月12日福島県エビスサーキットで開催された MFJ 全日本スーパーモト選手権第3戦に参戦しました。

11日の前日練習は4本の走行枠がありましたが、梅雨の季節ながら路面はドライでした。

前日までの雨の影響か3か所あるダートの中でテーブルトップの有るダートがキャンセル。ジャンプ無しの

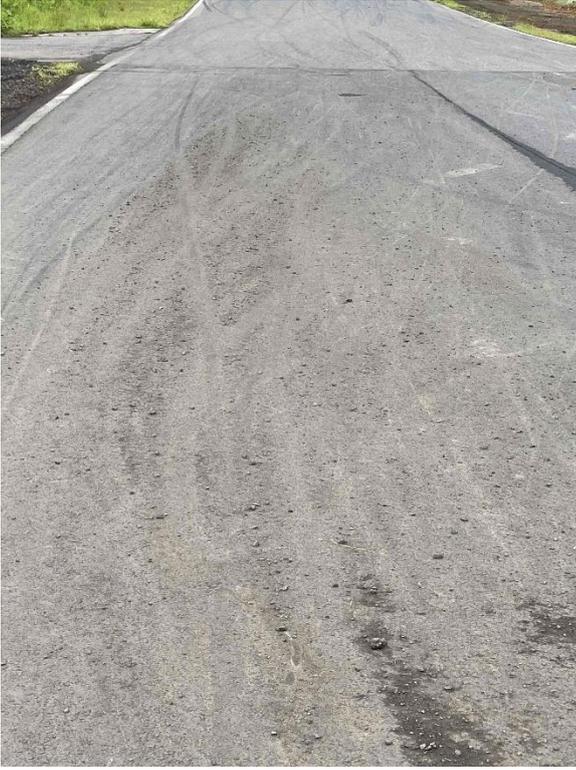
2か所のダート区間の有るコースレイアウトとなりました。

こちらが第1ダートの入り口と出口



ダートを出てからのアスファルトは砂利を引っぱって滑るのでアクセルコントロールが難しい箇所です。

しかしここでの加速がそのあとの長めの登りストレートの車速に影響するので勝負どころの1つになります。



第2ダートの入り口と出口。



こちらダート自体はストレートで下っているだけですがその後の出口が滑りやすくホームストレートへの加速につながる重要なポイントになる為ここの攻略が重要になります。

ターマック部分についてはS時コーナーは有ってもほぼコーナーの無いストレートを2本繋いだだけの様なレイアウトの為、ダートとそこからの立ち上がりで勝敗が決まりそうです。

12日決勝レース日。雨と予想して前日にレインタイヤを履きましたが雨は降っておらず路面もドライ。

早速スリックタイヤに履き替えます。前日練習ではミディアムコンパウンドを使用していましたが、雨がぱ

らつく事を予想してリアにソフトコンパウンドのスリックを履かせます。

ダート区間の荒れが整備されているので前日より走り易いですが、決勝日は他の選手の気合も違いペース自体が上がっています。そしてやはり、ダート出口で離される傾向にあります。モタードをやっている中で常に課題で克服できていない部分です。

自分の公式練習はドライで終えましたが、その後雨が降り出し路面はウエットに。レインタイヤに履き替えます。

今回の走行でレインコンディションの走行経験の無いまま予選タイムアタック。

雨はかなり強く降りダート部分の轍は全て水溜まりに。見た目上では轍が深いのか浅いのか全く分かりません。なるべく轍を避けて走りたいところですが多くの車両が走るベストラインは轍が出来、そこを通らないとタイムが出ない状況です。

本来なら路面コンディションのなるべく良いうちにタイムを出しておきたいところですが数周はダートのコンディションの確認に費やします。アタックを始めてみるとウエット路面の方がダートの出口がドライの時より滑らないので精神的には楽に走れています。結局ベストタイムは最終周に出ましたが順位は14位。

ただ、自分の前の1秒以内に5人いますのでスタートで前にさえ出られれば簡単に順位は変動しそうです。

雨はますます強くなる中、1ヒート目のレース開始です。サイティングラップですら前の選手と自分がダート区間ではね上げる泥でゴーグルは泥だらけで視界不良になります。

サイティングラップを終えグリッド整列時にロールオフ付きのゴーグルに交換して視界を確保。

グリッドは5列目真ん中。1コーナーは右で広いのでここはイン側狙いで右寄りを目指してスタート。

クラッチミートはバッチリでしたがグリッドの間隔が狭い為、ストレート上で既に渋滞気味で一気に前に出るような状況にはならず、1コーナーでは数台に抜かれてしまいます。2コーナー進入で数台が詰まっているのを避け1周してサインボードは13番手。数周後第1ダートの加速で1台パスして12番手に。後ろから排気音が常に聞こえるプレッシャーの中での最終周。やはり第1ダートで後ろの選手に並べられますが、自分がイン側の為抜かれることは無く12位でチェッカー。

昼休みを挟みヒート2。

コース整備は行われていないようでダート区間はさらに荒れています。雨は降ったり止んだりになり、ウエット路面ながらターマック区間は水溜まりや川が出来ている状況では無くなっています。

タイヤはその状況を見越してレース30分前にもしドライ区間が出来た時にタイヤが燃れずに走り易い5部山程度の中古レインに交換。まあ、いい状態のレインタイヤを次に残したいという本音もありますが…

今回は4列目イン側。ヒート1の状況からだとアウト側に思いっきり振って渋滞を避けて加速したいところですがイン側でグリッドの間隔が狭い今回は追突される可能性もある為インベタ狙いのラインで行くことに。

レーススタート！

案の定スタートの混乱に巻き込まれ15番手まで落ちてしまいます。さらに3周目辺りの第1ダート入り口で1台に抜かれ16番手。このままではノーポイントになってしまう為、必死にその選手を追います。それがプレッシャーになったのか単純にミスなのかターマックのS字区間でその選手が転倒。順位は15番手に。前方集団は2秒程離れて見えますが、ターマックを頑張ると徐々に近づいてくる感じ。ラスト2周というところで前の選手に追いつきます。第1ダート手前の鋭角コーナーでインを取ろうと思いましたが、それだとこちらが曲がり切れません。第1ダートでは前方選手は深い轍を避けて少しアウト側ラインを走行しています。

ラストラップも同じラインを通ってくればパッシングのチャンスがありそう。そして最終周。

一応(?)先程の鋭角コーナーでのパッシングも試しますがやはり厳しく深追いはせずに加速重視のラインに変更してダート進入。進入は同じラインですが前周同様アウト側にはらんでくれます。路面状況はこちらの方が悪いですがイン側の轍の中を一気に加速してなんとか並ぶことが出来たので出口ではイン側を取る事が出来無事パッシング。ただ排気量無制限のオープンクラスの為、相手は510cc。こちらは450ccこの後の登りストレートまで油断できません。が、第2ダート入り口で並ばれることなくホームストレートに入り14位でチェッカー。

路面コンディションが変わる難しいレースでしたがなんとか2ヒートともポイントを取る事が出来ました。

今回決勝レースが雨だった為、走行画像はありません。その分ピットクルーの嫁にはサインボードに集中してもらえた為、状況を把握できて落ち着いてレースが出来ました。

レース後に晴れたので今回、PITと宿をご一緒させて頂いたTOYZレーシングの皆さんと記念撮影



次戦は8月21日愛知県美浜サーキットの第4戦に参戦します。

いつも応援、サポートありがとうございます。引き続きよろしくお願い致します。